

洋野 うしお

学校教育目標 「学びを広げ 自ら問い 高めあう」

洋野町立種市中学校
令和2年度校報
第23号
編集 副校長 八幡

有終の美を飾る3学期に!! **三学期スタート** 日々の生活をおろそかにせず進歩を

3学期が始まりました。授業日数にして39日間の短い学期です。始業式に校長先生からもお話がありましたが、この3学期では1年のまとめとして、日々悔いのないよう生活してほしいと思います。

～校長先生の式辞から～（引用）

「有終の美を飾る」ということわざがあります。「仕事や与えられた役割など、最後までしっかりとやりとげ、素晴らしい結果を出して終わる」という意味で使われます。つまりこれは、最後を立派に締めくくることがであり、まさに3年生のこれまでの成長にふさわしい言葉だと思いました。卒業までの約2か月間、最後の花道を美しく飾ってほしいと思います。そして、全校生徒で令和2年度種市中の有終の美を飾り、次への成長の足掛かりにできる3学期にしてほしいと思います。

～生徒会長の山田朝陽くんの抱負から～（引用）

3学期は次のステップに向けての最後の土台作りの時期となります。例えば、1年生であれば4か月後に新1年生が入学してきた時、どんな先輩の姿を見せたいのかの土台。2年生は最高学年として、どんな学校にしていきたいか、また、リーダーとして引っ張っていく場面が多くなった時にも対応できる丈夫な土台。3年生は新生活に向けての土台など各学年で築かなければならない土台があると思います。2学期の終わりにも言いましたが、日々の生活をおろそかにせず、日々進歩していきましょう。

3学期はこの1年間の成長を確認しながら、それぞれの新しいスタートに向けて準備を整えることとなります。このことを成し遂げるため3学期もお子様への支援をどうぞよろしくお願いいたします。



3学期も集中した姿勢でスタートしました



3学期の抱負を述べる生徒会長の山田朝陽くん

箱根ランナーから学ぶ



洋野町陸上競技教室を開催

1月5日(火)～7日(木)の3日間、洋野町教育委員会の協力を得て、「陸上競技教室」が行われました。参加したのは特設駅伝部に所属する生徒と冬休みに体力づくりを兼ねて駅伝練習に参加していた男子バスケ部・男子卓球部の生徒などあわせて約40名です。

講師として来ていただいたのは本校の卒業生であり、あの「箱根駅伝」を大学時代に走った舘石盛行さん、堅谷真さん、玉澤拓海さんの3名。いずれも中学校時代に陸上競技と出会い、陸上競技を好きになり、努力を重ねてきた3名です。

3日間で走りの基礎技術やフォームづくりを中心に練習を進めてもらいました。生徒らは先生方のきれいなフォームやスピードの違いに感心しながら、ともに汗を流しました。

4月に開催予定の「盛岡一周継走大会」に向けて12月から取り組んでいる特設駅伝部にとってはより良い練習となり、これからの成長に大きな意味を持つ陸上教室となったようです。



玉澤コーチの指導を受けながらの練習



堅谷コーチの指導を受けスピードが上がる

生徒会リーダー研修会

～目指す 種中像を考える～

1月12日(火)に生徒会リーダー研修会が開催されました。午前中には「リーダーに期待すること」として校長先生からの講話がありました。

その後は新生徒会執行部担当の山根先生からの講話です。「生徒会活動で大切にしてほしいこと」としてリーダーシップについて考える時間となりました。

「種中の現状把握と分析」としてこれから目指す種中像について意見交換が行われました。

さすが全校のリーダーたち。それぞれの熱い思いをそれぞれが語り、よりよい種中を創っていかうとする意気込みが感じられました。



理想の種中について意見交換するリーダーたち